

第 54 回
バトントワリング全国大会
審査要領・審査規定



一般社団法人 日本バトン協会
BATON TWIRLING ASSOCIATION OF JAPAN

1. 審査員長・副審査員長・審査員・審判員**小学校** **中学校** **中等高等学校** **高等学校** **大学****(1) 審査員長**

①審査員長は1名とし、審査全般の最終判定を行うとともに審査審判を円滑に遂行する。

(2) 副審査員長

①副審査員長は1名とし、審査員長を補佐する。

②下記の規定を審査する。

ア. 実施規定 3. 構成 4. 演技

イ. ノードロップ

③審判員より違反の報告を受けたら内容の確認を行い審査員長に報告する。

(3) 審査員

①審査員は7名とし、下記の内容を審査基準に基づき項目ごとに審査する。

ア. サクセスレート（作品完成度）・・・2名

イ. ジェネラルエフェクト（全体的効果）・・・2名

ウ. パフォーマンス a, ステージング・・・1名

b, バトントワーリング・1名

c, ボディワーク・・・1名

(4) 審判員

①審判員は罰則を判断した場合に副審査員長に報告する。

②審判員は2名とする。

③審判員は下記の規定を審判する。

ア. 3. 構成 4. 演技

イ. ノードロップ

2. 成績・成績判定・表彰**(1) 成績****小学校** **中学校** **中等高等学校** **高等学校** **大学**

①審査規定1.（3）の項目ごとに審査基準に基づき100点法で採点する。

②項目ごとに平均点を算出する。

③ジェネラルエフェクト30%、サクセスレート40%、パフォーマンス30%として各項目点を算出し合計したものを各団体の得点とする。

(2) 成績判定**小学校** **中学校** **中等高等学校** **高等学校** **大学**

①各団体の得点に従い金賞・銀賞・銅賞と判定する。

- 金賞 : 85点以上
銀賞 : 70点以上85点未満
銅賞 : 70点未満

各構成の最高得点団体を最優秀賞と判定する。

(3)表 彰

①全出場団体に、金賞・銀賞・銅賞のいずれかを授与する。

但し、実施規定5. 罰則(2)違反の場合は除く。

小学校 中学校 中等高等学校 大学

各構成の最高得点団体に、最優秀賞を授与する。

高等学校

最高得点団体に、グランプリ、特別賞を授与する。

☆ノードロップ賞☆

出場団体に対してバトンが一度も落下しなかった団体にノードロップ賞を授与する。

学校部門

審査基準 審査内容

小学校 中学校 中等高等学校 高等学校 大学

【審査基準】

審査基準	得点	段階評価	正確さ／審査項目がみられる度合	全国大会成績
BOX 5	100 - 85	AAA／AA／A	ほぼ正確／多くみられる	金賞
BOX 4	84 - 80	BBB／BB／B	だいたい正確／みられる	銀賞
BOX 3	79 - 70	CCC／CC／C	正確さが少しみられる／少しみられる	
BOX 2	69 - 60	DDD／DD／D	正確さがあまりみられない／あまりみられない	銅賞
BOX 1	59 - 0	EEE／EE／E	正確さがみられない／みられない	

- ★構成人数に対し30%以上のドロップがある場合はBOX 5には該当しない場合がある
- ★バトントワーリング技能検定1級の技術内容がBOX 5に値する

【項目別審査内容】年齢による到達度を考慮し評価する

サクセスレート 40%

実施

- ・到達度の高い、完成された作品
- ・個々の責任意識がありグループプレーや協調性の高い演技
- ・リズムやタイミングの統一性
- ・グループとしてのユニゾンの力量と同調性
- ・正確なポジションワークと流れあるステージング

表現

- ・作品のテーマを主張した、視聴覚の調和された表現
- ・観客への作品アピールやショーマンシップ
- ・プロジェクションや自信ある演技、リカバリー能力
- ・ユニゾンやアンサンブル、ハーモニーのバランス
- ・フロア、立体によるステージングデザイン

ジェネラルエフェクト 30%

作品効果

- ・明確なテーマとプログラムコンセプト
- ・視覚と聴覚の一体性
- ・ユニゾンを基調とした集団美ある作品
- ・衣装の色彩やデザインが作品と調和
(過度な露出を避けたものが望ましい)

演技効果

- ・作品の理解、解釈
- ・音楽の理解、解釈
- ・基本的に正確なバトンとボディワークによるグループデザイン
- ・バトンによる点、線、立体のデザイン
- ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアワーク
- ・ミュージカリティ、観客への作品アピールやコミュニケーション

パフォーマンス 30%

ステージング

・ポジションワークの正確さ

- ・グループ全体のムーブメントの統一性
- ・音楽と一致したステージング
- ・スムーズで流れのあるフォーメーションの展開
- ・ステージングとバトンやボディワークの組み合わせ

バトントワーリング

・グループ全員のバトンテクニックの正確さ

- ・バトンリズムと音楽リズムの調和
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・グループトワールの多様性
- ・テーマに合ったエフェクティブなバトンの使い方
- ・バトンとボディワークやステージングの組み合わせ

ボディワーク

・グループ全員のボディテクニックの正確さ

- ・グループ全員の意識あるボディコントロール
- ・音楽やリズムとの調和
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・ボディワークの多様性
- ・テーマに合ったエフェクティブなボディワークの使い方
- ・ボディワークとバトンやステージングの組み合わせ

1. 審査員長・副審査員長・審査員・審判員**U-12** **U-15** **U-18** **OPEN****(1) 審査員長**

①審査員長は1名とし、審査全般の最終判定を行うとともに審査審判を円滑に遂行する。

(2) 副審査員長

①副審査員長は1名とし、審査員長を補佐する。

②下記の規定を審査する。

ア. 実施規定 3. 構成 4. 演技

イ. ノードロップ

③審判員より違反の報告を受けたら内容の確認を行い審査員長に報告する。

(3) 審査員

①審査員は7名とし、下記の内容を審査基準に基づき項目ごとに審査する。

ア. ジェネラルエフェクト（全体的効果）・・・2名

イ. サクセスレート（作品完成度）・・・・・・・・2名

ウ. パフォーマンス a, ステージング・・・1名

b, バトントワーリング・1名

c, ボディワーク・・・・・・・・1名

(4) 審判員

①審判員は罰則を判断した場合に副審査員長に報告する。

②審判員は2名とする。

③審判員は下記の規定を審判する。

ア. 3. 構成 4. 演技

イ. ノードロップ

2. 成績・成績判定・表彰**(1) 成績****U-12** **U-15** **U-18** **OPEN**

①審査規定1.（3）の項目ごとに審査基準に基づき100点法（小数点第1位）で採点する。

②項目ごとに平均点を算出する。

- ③ジェネラルエフェクト40%、サクセスレート30%、パフォーマンス30%として各項目点を算出し合計したものを各団体の得点とする。

(2)成績判定

U-12 **U-15** **U-18** **OPEN**

- ①各団体の得点を席次に換算し順位とする。
- ②同得点の場合は同位とする。

(3)表彰

U-12 **U-15** **U-18**

- ①上位8団体の順位に従い賞状を授与し、他の団体には優秀賞を授与する。
但し、実施規定5. 罰則(2)違反の場合は除く。

OPEN

- ①上位8団体の順位に従い賞状を授与し、他の団体には優秀賞を授与する。
但し、実施規定5. 罰則(2)違反の場合は除く。
- ②最上位団体に、グランプリ、特別賞を授与する。

☆ノードロップ賞☆

出場団体に対してバトンが一度も落下しなかった団体に、ノードロップ賞を授与する。

一般部門

審査基準 審査内容

U-12

U-15

U-18

OPEN

【審査基準】

審査基準	得点	段階評価	正確さ・優秀さ／審査項目がみられる度合
BOX 5	100 - 90	AAA/AA/A	正確さ・優秀さが多くみられる／多くみられる
BOX 4	89 - 80	BBB/BB/B	正確さ・優秀さがほぼみられる／ほぼみられる
BOX 3	79 - 70	CCC/CC/C	正確さ・優秀さが少しみられる／少しみられる
BOX 2	69 - 60	DDD/DD/D	正確さ・優秀さがあまりみられない／あまりみられない
BOX 1	59 - 0	EEE/EE/E	正確さ・優秀さがみられない／みられない

★構成人数に対し30%以上のドロップがある場合はBOX5には該当しない場合がある

★U-12, U-15はパトントワーリング技能検定1級の技術内容がBOX5に値する

【項目別審査内容】年齢による到達度を考慮し評価する

サクセスレート 30%

実施

- ・到達度の高い、完成された作品
- ・個々の責任意識が高く、グループプレーや協調性の高い演技
- ・リズムやタイミングの統一性、多様性
- ・グループとしての均一性、同調性
- ・正確なポジションワークと工夫あるステージングの展開

表現

- ・作品のテーマを主張した、視聴覚の調和された表現
- ・観客への作品アピールやショーマンシップ
- ・プロジェクションや自信ある演技、リカバリー能力
- ・ユニゾンやアンサンブル、ハーモニーのバランス
- ・フロア、立体、空間によるステージングデザイン

ジェネラルエフェクト 40%

作品効果

- ・明確なテーマとプログラムコンセプト
- ・視覚と聴覚の一体性
- ・集団美が活かされた作品
- ・創造的で独創的な多様性あるプログラム構成
- ・衣装の色彩やデザインが作品と調和

演技効果

- ・作品の理解、解釈
- ・音楽の理解、解釈
- ・正確で優秀なパトンとボディワークによるグループデザイン
- ・フロア、点、線、立体、空間によるデザイン
- ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアワーク
- ・ミュージカリティ、観客への作品アピールやコミュニケーション

パフォーマンス 30%

ステージング

- ・グループ全体のムーブメントの統一性、優秀さ
- ・音楽と一致したステージングや動きある組み合わせ
- ・スムーズなフォーメーションの展開と多様性
- ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアデザインの多様性
- ・ステージングとパトンやボディワークの工夫ある組み合わせ

パトントワーリング

- ・グループ全員のパトンテクニックの正確さ、優秀さ
- ・パトンリズムと音楽リズムの一致
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・トワーリングの多様性
- ・グループ技術の複雑性
- ・テーマに合ったエフェクティブなパトンの使い方
- ・パトンによる点、線、立体、空間の工夫ある使い方
- ・パトンとボディワークやステージングの工夫ある組み合わせ

ボディワーク

- ・グループ全員のボディテクニックの正確さ、優秀さ
- ・グループ全員の優秀なボディコントロール
- ・音楽やリズムとの一致
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・ボディワークの多様性
- ・グループ演技の複雑性
- ・テーマに合ったエフェクティブなボディワークの使い方
- ・ボディワークとパトンやステージングの工夫ある組み合わせ